

74新破天荒



令和四年度版
創刊
第18号

GW週間突入

高校生にとって、ゴールデンウィークとは総体のまつりだ中であつたり、一年生を迎えて集団を鍛錬する週間でした。

近頃は、家族旅行であつたり、ノー部活デーなど時代は私達の高校時代とは様変わりしてきましたが、最後の大会を終えた三年生の姿は今も昔も変わることはないで、私のような「昭和生まれ世代」では、つい「いま、この瞬間が勿体ないなあ」と思わずはいられません。まず気をつけることは

怪我 体調管理

自信 諦めない心

を大切にすることです。

皆さんには「もう一年」ありますが、皆さんが大切にしている先輩方との時間は「いまこの時」しかありません。

思いの詰まった、素晴らしい令和五年のGW週間にしてください。活躍を祈っております。

GW後は すぐに中間考査

その前には、生徒会選挙です。立会演説会も控えています。七十四回生は、

生徒会長候補

柴原 綺良 (二組)

副生徒会長候補

佐田 埜衣 (四組)

会計候補

前山 巧 (三組)

の三名が立候補します。今回は、各々の信任投票となりますが、勇気を持って学年の顔になる決意をしてくれた面々です。学年の皆さんが、学年の教員団が、姫路南高校の皆さんが、姫路南高校全教職員団が令和五年度から六年度の本校屋台骨を支えることで、活気のある生徒会活動が展開されるよう、協力しましょう。

まずは、十一日の生徒会選挙で三人の想いを受け止めて、信任してほしいと思います。

その週末も、考査前ではあるけれど、県総体地区予選の部活動もあると思います。優先順位をしっかりと決めて、「瞬間・瞬間」に妥協のないように、自分の能力を余すことなく、目の前の課題・問題に挑戦してほしいと思います。

そんな中の中間考査ですが、そんなときほど不思議なことに、好成績を収めることも多いです。

危機感 集中力

といったものは、

「火事場の〇〇力」

として発揮されるものだと、経験上思います。高々一つの慣用句ではありますが、「〇〇」で表記することも、時代とはいえ「世知辛い」ものも感じます。

とはいえ、その力は本物です。「うのせいで」とよく言う人はきつと「火事場」に立つ覚悟をしていないのでしょね。

その言い訳は、自分が一番本気で挑戦したいことを貶める(読めない?調べてみる?「おとしめる」と読みます。読めなくてもどうにかなる話ですが、疑問解決の行動がとれますか?)、いや、本当はそれが一番ではないのかもしれない。

こんな風に言われることを「悔しい」と思うか、「勝手に言っているか」と思うか、「言わせてたまるか」と行動しているか。少しだけ、今までの自分の行動を振り返ってほしいと思います。

ゴールデンウィーク後半戦。これからの一週間、自分が一番頑張りたいことに費やす時間と、自分が一番しなければいけないことをする時間。いずれの時間にも、「火事場の〇〇力」を発揮してみませんか?自分の可能性を、意外と低く見積もっていたことに気付いてください。

散歩道74 クラスコード 5luczkw

Start 23 → 2022 last 36

2023 start 38 → Now 52

2ndGrade start 52

Now 54

前回発行から日が浅い分、今号では今月、来月の予定は割愛させていただきます。前号で予定の確認をなさっていただけだと思います。

なお、数多くの保護者から本校HPでの年間行事についてのご指摘をいただいたことも感謝します。本校教育活動に強い関心を持って下さっていることに感謝をし、今後も七十四回生に対してだけでなく、本校に関わっていただいで下さる方々に対しても、真摯に応えていくよう、努力いたします。今後、さらに本校の教育活動の成長のためにも叱咤激励を頂けますよう、重ねてご協力をよろしくお願いいたします。



自分の進路を宣言する

一学年の年度末に実施したスタディサポートの結果が、四月二十七日に返却されました。七十四回生全体としては、一学年同時期に実施した結果と比較すると、一番大きな集団が学習到達度、学力結果とも、一マスずつ上昇結果が出ました。基礎基本に関しては努力を重ねることが出来る集団であると思います。

次のステップとしては、集団を引っ張るリーダー、自分の器を上げるための「いまの自分を破壊する」勇気の育成になります。

結果返却時のLHRで担任から連絡してもらったように、

夏休み三者面談での

「自己進路の決意宣言」

をしてもらいます。皆さんと保護者とも情報を共有して、「本当の自分探し」のスタートとなるステージに、本校卒業後に立って下さい。

本校卒業後の進路は、皆さんにとつての

ゴールではない！

分かっているにしても、自分が苦しくなると、「入学」をゴールにしてしまいがちです。そうならないように、生徒の皆さんだけでなく、我々教師、保護者が前向きなベクトルを発信できるように、早い時期から協力、支援、叱咤激励を保てるようにしましょう。

GW進路課題

その行動の一助となればと、GW明け提出の進路課題を課します。難しいものではありません。

自分の決意に対して、「日々」「週」「月」毎に何をクリアしていくかの目標設定を「決意」してもらおうのです。

「いま」の決意が、「大目標」として進んでいけるのが最短の道ですが、「自分と真剣に向かい合った」結果、自分探しになることも、今回の狙いです。

「考える」時間は、色んな経験、想像が必要ですが、「決意」する時間は、実は「一瞬」です。

今回は、その「勇気」を出すことに触れてもらいたいと思います。

なお、今年度初めに、姫路南高等学校の進路目標として「国公立大学」の合格者数四十人が掲げられました。機会は

- ① 「総合選抜型(かつてのAO)入試」
- ② 「学校選抜型(かつての推薦)入試」
- ③ 「一般入試前期」
- ④ 「一般入試後期」

の、最大四回です。①、②はどんなに優秀な生徒を受験させても、各学部各学科一名の合格数を覆したことは残念ながらありません。③、④については、どちらか一回の可能性も高いです。

となれば、まずはこの一年で③、④の受験資格を持つ生徒、つまり、共通テスト受験者を目指設定の三倍である百二十名をクリアできれば、チャンスが出てくると思います。

その思いが皆さんと共有できれば・・・。

今月のの勧め

一年	「無駄」
五月	「諦めない」
六月	「捨てる」
七月	「チャレンジ」
一学期末	「さかのぼる」
九月	「テレビ」
十月	「大空間」
十一月	「無」
十二月	「こだわり」
二学期末	「信念」
一月	「探る」
二月	「自制する」
三月	「勇気を探す」
一年最終	
二年	
四月	「悩むこと」
四月 2	「本気でぶつかること」
五月	「この世界の片隅を大切に」

昨秋、ご当地女優主演の「天間荘の三姉妹」という映画がありました。「その世界(生死の狭間で心が揺れる世界)」が描かれる最中に、流れていた主題歌の「Beautiful World」の歌詞の中に、

♪ 美しい世界、忘れないで、また会う日まで
♪ いつかまたね 忘れないよ ずっと

という部分があります。
一学期始業式前から、競技会シーズンとなって、正直寄る年波の中での「連勤」の日々はかなり辛いものがあるのは事実なのですが、神様がそんな私に

「頑張れ」と言わんばかりに、「兵庫リレーカーニバル」において、疲れを吹き飛ばす出来事がありました。勿論、本校の生徒の皆さんの活躍も勇気をくれましたが、ある再会の場面をぜひ紹介させて下さい。

大阪に大成学院高校という、跳躍系種目では有名選手を多く輩出している学校があります。その学校の指導者であった先生と、今を遡ること約十五年前に、私の生徒と同じ種目を競う選手との関係で、何度か指導を乞うたり、お話をさせていたたく機会を頂きました。ただ、その後なかなか縁を持続できる成果を私が引き出すことができず、年月だけが過ぎていきましたが、競技会を終えて競技場を去ろうとした時のことです。

偶然、その先生とすれ違い、目と目が合いました。その際、私は懐かしさで頭を下げました。あちらは日本中に知れ渡った有名人、こちらはただの一般人。場面はそれで終了・・・のはずでしたが、何とその先生が驚いた顔で「久しぶりです」と、お声掛けをして下さいました。

当然、私の名前をご記憶されていると思うことは厚かましい限りです。ただ、長い人生での「ある」世界の「ある」時期、「ある」タイミングでの偶然の出会いが、私から見れば「奇跡」のような出来事を頂けたことは、これって誰にでもあることなのかと。

人生の中では、何度も勇気がほしくなったり、誰かに背中を後押ししてほしいときが無数にあります。そんなとき、皆さんにも「勇気」をもらえる多くの「偶然」、「奇跡」、「出会い」に救われるよう、「いま」を誠実に、真摯に生きてほしいと思います。

まずは、GW明けの中間考査までのスパンで自分を頑張らせてみましょう。

GW中の、七十四回生の多くの活躍を期待して、私達も過ごしたいと思います。